1969年3月10日
第71号
発行　新潟県巻町役場
電話代表(9)3131
編集　商工観光課

住民基本台帳人口
（昭和44年2月28日現在）
総人口　27,662人
男　13,331人　女　14,331人
世帯数　5,991

新潟市との委託調印なる

サヨナラ四ツ郷屋小学校

66年間の歴史に終止符

児童56人は木山小に通学

三月一日午後一時から四ツ郷屋公民館で、新潟市・巻町教育事務一委託に関する調印式を両市教育委員会関係者の出席で行ないました。

式はまず、丸山町教育長と新潟市教育長代理渡部学校教育課長のあいだで教育事務委託に関する契約書を取り交し、この時点で念願の四ツ郷屋部落児童の市立木山小学校委託が正式に決まりました。

ひきつづき畠山町教育委員長があいさつ、そのあと渡部市教育長代理が「最初巻町教育委員会からこの話が持ち込まれた時、新潟市であまり例がない学区外通学の問題だけに事務段階で難色があった。しかし、巻町教委と教育のバランスを持つ中で巻町の折衝を持つ中で巻町教育ビジョンに賛同、市としても協力することになった。新学期から四ツ郷屋の児童を市立木山小学校に迎えるわけですが、市の児童と区別なく教育にあたるので心配なくまかせて欲しい。」と結び、式を終えました。

調印する丸山町教育長（右）と渡部市教育長代理

四ツ郷屋小学校はここ数年来他地区と同じく、人口の流出、出生の頭打ちなどから児童数が漸減傾向にあり、特に昭和四十四年度は児童が著るしく少なく六学級編成がむずかしく二部複式授業を余儀なくされていました。しかし、子弟の教育に熱心な四ツ郷屋では教育効果の上がらない複式授業をなんとか避ける方法はないものかと十分検討しました。その結果、部落内に学校がなくなる教育環境面のマイナスを度外視して、木山小学校への委託通学を決め、町・町教委に実現方を申し入れ、今回の運びとなったものです。

昭和四十四年新学期から市立木山小学校に通学する四ツ郷屋の児童数は新一年生九人、二年生九人、三年生十二人、四年生八人、五年生十二人、六年生九人の合計五十六人。通学距離は部落から一キロメートル、徒歩で十五分。また通学バスの増発を新潟交通に陳情中で見通しは明るい。受け入れ側の市立木山小学校（岡山一郎校長）児童数は二百七十六人（四十三年十月現在）で、新学期から児童の減少で学級数の減が予想されていましたが、四ツ郷屋部落の委託児童五十六人を含めて適正規模学校十二学級編成が維持できることになっています。

三月二十七日で六十六年間の長い歴史に終止符を打つ四ツ郷屋小学校の沿革にふれてみよう。明治三十五年四月角田村立綾前小学校四ツ郷屋分教場として開校され、昭和二十七年四月角田村立四ツ郷屋小学校に独立。そして、昭和三十年町村合併により巻町立四ツ郷屋小学校に改名、今日にいたりました。この間、卒業生三百二十四人を送り出しました。

四月から木山小学校に通学する四ツ郷屋小学校五年一組の小川志郎くんは「いままで通学していた小学校がなくなるのはちょっぴり淋しいが、二月十五日交歓会「仲よし会」、二月二十七日ボートポール大会で木山小学校の生徒とすっかりお友だちになれたので、四月からの通学不安はまりない」元気に話をしてくれました。

この学校で登下校姿がみられるのもあとわずか

定例町議会始まる

新年度予算など22議案を審議

昭和四十四年第二回町議会第一回定例会が三月八日開会。会期は三月二十日までの十二日間。

開会後、江端町長が昭和四十四年度の施政方針説明（次号で詳報）を行ない町政執行に対する考えをあきらかにしました。

引き続き、一般質問に入り、小林市平議員が、「高速道路の位置の見通しについて」、石田亦男議員が「東西補助路の拡幅について」「老人いこいの家建設位置について」、佐藤吉之助議員が「職員の待遇改善について」「学校統合計画の周知について」、小柳真治議員が「町政の基本方針について」「職員給与の改訂について」、江端町長の答弁を求めました。会期中に昭和四十四年度巻町一般会計予算について、巻町・潟東村教育委員会の共同設置に関する協議についてなど二十二議案が上程され審議されます。

三月議会は別名『予算議会』ともいわれ、昭和四十四年度町予算が決められます。四十四年度は総合予算を採用、予算額は五億四千七百万円で前年度当初予算より三〇・二%増の一億二千六百九十五万円上回る大型予算が組まれました。なお、談会の会期日程は次のとおり。

三月八日	本会議	午前九時開会、町長施政方針演説、一般質問四人
九日	休会	自宅審議
十日	委員会	厚生委員会（現地視察）、産経委員会（現地視察）
十一日	本会議	
十二日	委員会	土木委員会（現地視察）、厚生委員会、産経委員会
十六日	休会	自宅審議
十七日	委員会	総文委員会（現地視察）、厚生委員会、産経委員会（現地視察）、総文委員会、土木委員会
十八日	委員会	厚生委員会（現地視察）、総文委員会、土木委員会
十九日	全員協議会	協議会
二十日	本会議	

県消費者協会巻支部誕生

県消費者協会巻支部結成総会が3月5日巻信組ホールで大井ヒデ県消費者協会会長、日浦県企画調整課長、江端町長、三沢巻保健所長ら来賓を迎えて開かれました。支部組織で県下4番目。会員数67人。会長に藤田シズエさんを選出。巻支部では今後の活動として消費者苦情相談の開設、各種懇談会、簡単な商品テスト、教育講座などを実施。かしこい消費者となるため会員が一体となり勉強するとになっています。（写真は祝辞を述べる江端町長）

水道三期拡張工事に着工

完成後給水人口二万七千人

水道課では、現在第三期上水道拡張工事を行なっています。拡張工事は昭和四十六年度完成予定の四か年継続事業。総工費二億五千九百八十一万円。その内訳は三か町村水道企業団共同取水施設負担金巻町分一億一千九百二十六万円（補償金六千四百九十八万六千円負担金五千四百二十七万四千円）浄水、配水の各施設、配水管布設工事、事務室新設など二億四千五百十五万円、現有の上水道施設は一日四千立方メートルの給水能力を持っていますが、近年、工場進出各家庭使用量の増大などで水道使用量がふえていますが、施設をフル運転してどうやら町民のみなさんにご迷惑をかけずにすんでおります。しかし、これが夏期になるとさらに水道の使用量が一日六千立方メートルにもなり、水道事情が悪化、再三、再四ピンチに追い込まれる状態にあります。

第三期上水道拡張工事完成後は現有施設の二倍強の能力を持ち、峰岡地区、松野尾地区の給水、巻地区の人口自然増を見込んだ一日一万立方メートル二万七千人に給水可能になり、年間を通して町民のみなさんに水道をふんだんに使っていただけるようになります。

なお、四十四年度に峰岡、四十五年度に福井、福島、伏部に給水を開始の予定です。

家庭の防火指導を実施

—消防署—

消防署は、昨年に引き続き町（巻地区）の各家庭を訪問、火災から生命、財産を守るため灯油（石油）、プロパンガスの貯蔵と取り扱いについて防火指導を実施しました。

その結果、灯油（石油）、プロパンガスの保有状況はつぎのとおり。灯油（石油）百リットル～五百リットル未満六百二十一世帯プロパンガスは十キログラム六十六世帯、二十キログラム五十六世帯、五十キログラム二十二世帯、百キログラム五世帯。

防火上かなり危険と思われる貯蔵方法の家庭がだいぶみられました。灯油（石油）百リットル（一斗缶五本）以上一五百リットル（ドラム缶一・五本）以下を貯蔵する場合は消防署へ届け出が必要です。また、貯蔵方法は次のとおり決められていますので、各家庭でもご協力をお願いいたします。

1、屋外で貯蔵するときは、建て物より二メートル以上はなさなければなりません。

2、屋内で貯蔵する場合は不燃材料で造られている場所。

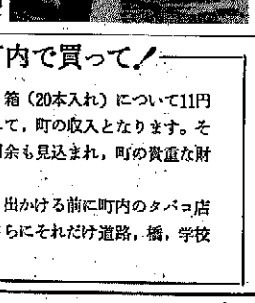
3、灯油（石油）五百リットル以上の場合は町長の許可が必要です。

4、プロパン十キログラム以上のボンベは屋内に置くことができません。

5、ボンベは屋外で排水がよく直射日光の当たらない場所で転倒を防止する。（二十キログラム以上のボンベは針金などで固定措置すること）

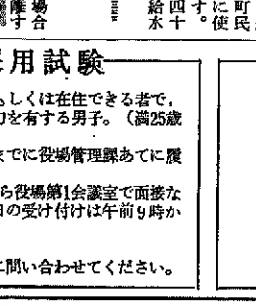
6、燃焼器具、ゴム管類はプロパンガスの規格に適応したものを使用すること。

7、ボンベから二メートル以内にある火気をさえぎる措置を講ずること。



正しい置き方

灯油（石油）を屋外貯蔵する場合は建て物から二メートル以上離すこと。



プロパン、ボンベ二十キログラム以上は針金などで固定措置すること。

タバコは町内で買って！

町内で売れたタバコ1箱（20本入れ）について11円60銭がタバコ消費税として、町の収入となります。その額は1年間で3,000万円余も見込まれ、町の貴重な財源となっています。

町外へお勤めの方も、出かける前に町内のタバコ店で買っていただければさらにそれだけ道路、橋、学校がりっぱになります。

町消防職員採用試験

- 受験資格　旧巻町区域内在住者、もしくは在住できる者で、高校卒業もしくはこれと同等の学力を有する男子。（満25歳以下の者……昭和44年4月1日現在）
- 受付け期限　昭和44年3月22日までに役場管理課あてに履歴書を提出すること。
- 試験　昭和44年3月26日午前10時から役場第1会議室で面接ならびに筆記試験を行ないます。当日の受付けは午前9時から9時30分まで。
- 採用予定人員　2人。
- その他　待遇や不明の点は管理課に問い合わせてください。

住民心配ごと相談室

悩みごと、心配ごと、
農地のこと、行政のこと
いつでも遠慮なく、お気軽においでください。

住民相談室

来年の成人式へスタート

成人者の声を反映

「六〇%の四〇%くらいかな」

「半々、五〇%の五〇%くらいでないかな」成人式の来賓席でささやかれた女子の服装、和服と洋服の比率である。

たしかにことしの成人式は半々多少和服が洋服をうわまわっているかな、くらいで、昨年の和服八五%と比較して、ことしの式場は一変したことはまちがいない。

人と人なみ、つまりそうした平均化の中にしか自分を見えだせない現代人の弱さについて、昨年来成人者代表や婦人会、社会教育委員会議等で話しあいをかさね「心の晴れ着で」を強調、そして迎えた成人式だけに、来賓をはじめ関係者にとって高い関心があったわけである。

式典終了後のアトラクションもそのほとんどが参加して「はたちの記録」発表に耳をかたむけ、フォークダンスやバレーボール、卓球、バドミントンに若さをむき出し、熱気にあふれていた。

見る者をして特に公民館にとっては、ほのぼのとした喜び、充実感にひたった数時間であった。

社会教育委員会議、公民館運営審議会は、さる二月十日、十三日とそれぞれ開催、ことしの成人式を反省、あわせて来年度のそれについて検討を加えた。

。成人式は昭和四十五年一月十五日

。はたちの記録、記念品は成人者と協議、一層充実したものとする

。アトラクションはことしのように動きのあるものがよい。しかし成人者の意見を反映する。

。特に女子の服装については「あくまでも自由であるが、自主性を強調、心の晴れ着で」を訴える。

などのほか、降雪の問題、学生や就職者（県外）の参加についても一月十五日が適当であるかどうか話題になったが、はっきりした決め手もなく従来どおり国民の祝日一月十五日に成人式を行なうこととなった。

国保の被保険者証 四月から新しく

四月一日から国保の被保険者証が変わります。

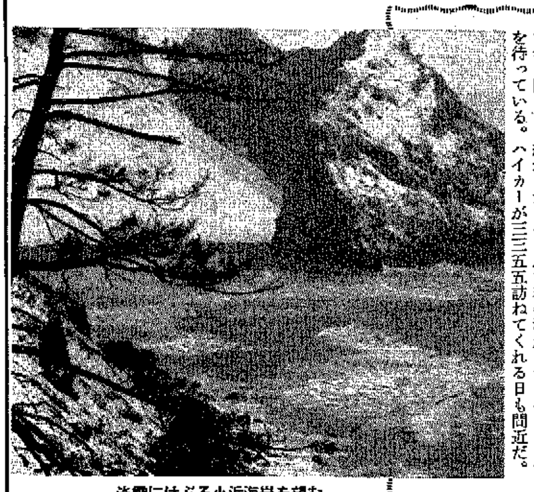
現在使用している被保険者証は三月三十一日で有効期間が切れますので、新しい被保険者証を今月中に区長さんを通じお届けいたします。新しい被保険者証は、記号と色調（藤色）が県内全町村統一されて作られています。

被保険者証が届きましたら、必ず記載内容を調べ、出生、死亡、転出入、社会保険の資格得喪など訂正を必要とする場合、今月中に役場窓口で訂正してもらってください。

また四月以降受診の際は、新しい被保険者証を医師の窓口へ提示してください。

春を待つ海……

くる日も、くる日も日本海に重く低くたれ込めていた鉛色の雲。白い牙をむきだしに岩壁をかんだ波とう。きびしく長かった冬も間もなく終わりだ。のどかな春の海が、すぐそこで出番を待っている。ハイカーが三三五五訪ねてくれる日も間近だ。



淡雪にけぶる小浜海岸を望む

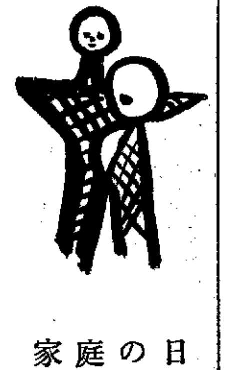
社会に巣立つ若人のつどい 3月17日

卒業シーズン。今年度は管内中学校で五百六十人余が学窓から巣立ち進学、就職します。

町教育委員会では、社会に雄飛するみなさん（進学予定者を除く全員）を激励するため、三月十七日午前十時から藤見座劇場で「社会に巣立つ若人のつどい」を行ないます。

このつどいは毎年行なわれているもので、当日は江端町長、丸山教育長の激励のことば、北川公民館長の話「青年とグループ」、郷土芸能、映画の鑑賞で、若年労働力として実社会に飛び出すまえの一日をゆっくり楽しみ、英気を養ってもらうことになっています。

家庭の日 3月16日



家族で春山歩きのプランを

少し早いようですが、町の指定文化財みずばしょうが雪どけ間もない三月末から、仁箇天狗の谷（通称てぐり山）に純白の花をつけます。

みずばしょうは寒冷地の植物で中部日本では高山の湿地帯に多く生育しています。

ここ天狗の谷のように低地にみずばしょうの群生がみられるのは珍しいといわれています。

足を一歩のばせば稲島のぎんめい竹、薬師堂の大杉、つばきの群生する椿谷などみることができます。家族づれでの春山歩きなどいかがでしょうか。

子どもからおとなへ「子どもの目」から抜すい紹介します。

「私たちの目から見たおとなの世界」

おとなの世界、それは私たちにとって未知の世界であり、またいつかは行かなくてはいけない世界だと思います。

でも私はできることならいつまでも、子どもの世界にいつづけたいと思います。

小さい頃はよく「私は早くおとなになって、自分のお金で自分の好きなものを買い、好きなことをするんだ」と、心の中で早くおとなになることを願っています。

でも、だんだん大きくなるにつれて、私のおとなの世界、それは一言でいいつくせない世界。

たとえば、私たちの手本となるべきおとなが、平気で道でごみを捨てたり、酔っぱらい運転で事故をおこしたりしているのにかかわらず、私たちに良識ある人間になれというおとな。

ここに何か矛盾している世界を感じる。そして私は思う「今のおとなに子どもの心があったら…」世界の人が純情で、純粋な気持で接したら……と。

そうすれば、うそで毒されることもなく、お互いに信じあえ、きっとすばらしく住みよい世界ができるだろう。

今のおとなは、自分の利益ばかり考えている。

だからいろいろな犯罪や、世界の不満がたえないのだ。

これからも、私が成長するにつれておとなの世界に対する考え方も変わってゆくだろう。

だが、私はなりたい、子どもに尊敬されるおとなに……。

学生の住所は寮・下宿先

町を離れる時は届け出を

自宅を離れて他市町村の寮・下宿などに居住する学生、生徒の住所は一般的にその寮・下宿などの所在地です。

学資を送っているから巻町に住所があるのだと、簡単に考え異動届けのないものがあるのではないかと思います。

たとえば、学生が成人に達すると選挙権は巻町でなく、その寮・下宿の所在地であるのに届け出がないため巻町に登載されるような状態が生じやすく問題の要因ともなります。

みなさんの届け出により選挙、国保、年金、配給などが住民基本台帳というものに統合され、その結果として住民の権利義務が生ずるわけです。

今春、入学のため郷里を離れる人、また、未届けの人は、ぜひ、これらのことをご認識いただき届け出てください。なお、大学、各種学校などの休みで帰省される人は、住所が変わったのではなく一時的な状態ですから、寮・下宿先から住所を移したということにはなりませんからご注意願います。

竹野町婦人会社会勉強

竹野町婦人会（会長上原ハナ）五十人は二月二十五日、町内のブルボン食品KK西浦工場、組合立葬祭場「妙有院」、役場などの施設見学を行ないました。

これは日ごろ家庭にある主婦が施設見学の機会にめぐまれないため実施されたもの。

役場議場を見学する婦人会員

青年球技大会

総合優勝に館長杯

前回いろいろの都合で一時延期された館長杯争だつ青年球技大会を三月十六日午前九時から巻小学校体育館で行ないます。

種目は、バレーボール、卓球、バドミントン（いずれも男女混合）

参加資格は、町内青年グループの男女とする。なお、全種目参加の困難なチームは一種目でもかまわない。総合優勝チームには館長杯を贈る。申し込みは、所定の申し込み用紙により三月十四日までに公民館へ。

お知らせ

トランプ類販売に申告が必要

マージャン、トランプ、花札などを販売しょうとするときは、販売する場所、品名などを記載した申告書を、必ず事前に税務署長に提出しなければならないことになっています。

最近の調査結果によりますと、この申告書を提出しないで販売しておられた人が二、三見受けられました。

届け出をしないでマージャン、トランプ、花札などを仕入れ、または、販売した場合には、トランプ類税法に違反し、罰せられることになりますから、ご注意願います。

なお、手続きその他ご不明な点がありましたら、巻税務署間税課へ問い合わせてください。

自動車税の納税証明について

四月一日以降、自動車税の納税証明書交付を受ける際は次によってください。

一、自動車税の証明（請求）書は必ず所要事項を記入してください。

二、県税領収書を必ず持参してください。

三、本人または、使用人以外は委任状を持参してください。

年賀はがき百億目 幸運はだれ？

お年玉寄付金百億円突破記念行事として、百億目に当たる年賀はがきの購入差出人および受取人に対し、受配団体代表日赤東社長から感謝状と記念品が贈呈されます。

その番号は「A〇四二三九組の九一五四〇六」。あなたのお手元の年賀はがきをもう一度調べてください。もし、当たっていたらもよりの郵便局に届け出てください。

青年海外協力隊員を募集

日本青年海外協力隊事務局では昭和四十四年度第一次派遣隊員を募集しています。インド、ラオス、フィリピンなどの原地で稲作、木工の指導をしてみませんか。

資格は満二十歳以上の日本の青年男女で技術、技能を有する者。願書締め切りは昭和四十四年三月三十一日。くわしいことは役場農林課に問い合わせてください。

県産品推奨審査会

昭和四十三年度第二回県産品推奨審査会が開かれます。

くわしいことは、役場商工観光課に問い合わせください。

♂うぶごえ♀（一月一日以降届け出）

赤ちゃんの名まえ	生まれた日	保護者名	住所
大治かな子	1・20	忠男	稲島
有坂幸人	1・25	貢	13区
田辺芳春	1・25	三司	漆山
大川芳弘	1・25	久一	漆山
関根篤志	1・27	忠三郎	漆山
岡本誠	1・27	藤作	漆山
高杉陽子	1・27	秀英	四ツ郷
山岸靖弘	1・27	公二	赤さび
樋口学	1・28	繁美	河井
木田千春	1・28	義春	葉萱場
加藤はるか	1・29	圭介	1区
平山友子	1・29	東滉	2区
土田百合子	1・29	与四男	並岡
岩崎勇	1・30	正嘉	松野尾
福田正芳	1・31	高男	漆山
高橋由美子	2・2	進	漆山
西村健	2・3	四郎	3区
岩波祐恵	2・3	勝彦	竹野町
保川裕美子	2・4	弘美	漆山
有坂一也	2・4	健治	漆山
中川昌憲	2・4	惣三	松野尾
内藤弘	2・6	武夫	7区
藤田雅史	2・6	寅	堀山団
亀井章裕	2・7	靖	2区
阿部純子	2・8	太一	2区
内山俊幸	2・8	幸雄	堀山団
倉持勝志	2・9	勝男	12区
久保田英和子	2・10	和夫	9区
番康晴	2・10	光利	東6区
笹川裕之	2・12	良雄	舟戸
木内克則	2・13	吉栄	赤さび
川村健一	2・13	勲	鷲ノ木
川上健司	2・13	健一	漆山
山本よしみ	2・14	昭一	松野尾
土田智子	2・14	重吉	11区
清水明子	2・15	義友	越前浜
小林栄子	2・15	勇	漆山
小島寛之	2・15	燕	福井
水沢博和	2・17	博	4区
山本直美	2・22	善忠	松野尾

○おくやみ●（一月一日以降届け出）

名まえ	年齢	なくなった日	住所
山岸五策	73	2・1	前田
渡辺タツ	76	2・2	11区
田辺ムメ	79	2・3	漆山
岩富徳治	77	2・3	3区
酒井セツ	64	2・4	漆山
石田ハリ	70	2・4	角田浜
小林小七	72	2・5	3区
笠原トメ	75	2・7	13区
斎藤トセ	79	2・11	1区
渡辺宇多子	62	2・11	5区
鶴巻クメ	84	2・11	1区
高野ノイ	79	2・13	布目
篠沢トメ	84	2・14	越前浜
斎藤重一	82	2・14	松山新田
福田平作	75	2・20	漆山
青柳藤吉	48	2・23	10区
長谷川真五郎	63	2・27	8区

心配ごと巡回相談　3月17日浦浜公民館10時〜15時。お気軽においでください。